

# 平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：財務課  
 担当名：施設企画担当  
 内線：6645

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B19	県立学校グラウンド整備事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校建物等維持管理費	
事業期間	平成20年度～	根拠法令	なし			宣言項目			
						分野施策	030622 質の高い学校教育の推進		
<b>1 事業の概要</b> 県立学校のグラウンドは、開校より年数が経過しており風雨による表土の流出や、使用に伴う劣化などで教育活動に支障をきたしている状況である。 そのため、表面の状態等が悪化したグラウンドを整備し、浮き石や凹凸、水捌けの悪さを改善する。 これにより、生徒が安心して安全に授業や部活動が行える環境を整備する。 グラウンドの代替地について、学校教育活動や部活動に支障のないよう整備する。 (1) 高等学校グラウンド整備事業 △12,814千円 工事費が当初見込みを下回ったことによる減額 (2) 特別支援学校グラウンド整備事業△ 2,729千円 工事費が当初見込みを下回ったことによる減額				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 流出した表土の補充・整正によるグラウンド整備工事を実施し、生徒の怪我の原因となる浮き石や凹凸、降雨後のグラウンド使用の支障となる水はけの悪さ、砂塵の発生等を改善する。 グラウンドの代替地について、学校教育活動や部活動に支障のないよう整備する。 ア 高等学校グラウンド整備事業 6校 93,360千円 イ 特別支援学校グラウンド整備事業 1校 15,560千円 ウ 高等学校グラウンド代替地整備 1校 72,326千円 (2) 事業計画 グラウンドは経年劣化するため定期的な改修が必要であり、全ての県立学校を計画的に改修する。 ア 平成29年度 (ア) グラウンド改修 7校 (県立高校6校、特別支援学校1校) (イ) グラウンド代替地整備 1校 イ 平成30年度以降 (ア) グラウンド改修 毎年7校整備予定 (3) 事業効果 生徒が安心して安全に授業や部活動が行える環境を整備する。 平成28年度 7校(春日部東高校、所沢西高校、吉川美南高校、鷲宮高校、川口北高校、大宮工業高校、大宮北特別支援学校) 平成27年度 7校(伊奈学園総合高校、与野高校、鳩山高校、南稜高校、滑川総合高校、春日部東高校、浦和特別支援学校) 平成26年度 6校(大宮東高校、川越工業高校、深谷第一高校、草加高校、新座総合技術高校、久喜北陽高校)					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)				(4) 補正予算の概要 ア 高等学校グラウンド整備事業：工事請負費が当初の見込みを下回ったことによる減額 イ 特別支援学校グラウンド整備事業：工事請負費が当初の見込みを下回ったことによる減額					
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×0.3人=2,850千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△15,543	県 債	△17,000					1,457	165,703
現計額	181,246		180,000					1,246	